



座間市 しゃきょう

互いに手を取り 支えあう 人と人

URL: <http://www.zamashakyo.jp/>

2014.12.22 No.142 社協広報

社会福祉協議会は、住み慣れた地域の中で誰もが安心して暮らせる社会を作ることとを目的とした、社会福祉法に定められた民間の福祉団体です。

発行 社会福祉法人 座間市社会福祉協議会
〒252-0021 座間市緑ヶ丘1丁目2番1号
座間市立総合福祉センター(サニープレイス座間)内

TEL.046-266-1294 FAX.046-266-2009
Email: info@zamashakyo.jp



善意銀行

座間市社会福祉協議会では、「社会福祉の役に立ちたい、困っている人を助けたい」という市民の善意を受け、それを必要としている方や福祉施設、団体等へ橋渡しを行い、また社会福祉全般の発展を促進するため、「座間市社会福祉協議会善意銀行(通称「善意銀行」)」を設置しております。善意銀行では、お寄せいただいた寄付金・寄付物品を寄付者の趣旨に添うように配分、運営をしております。

皆さまからの **善意** はこのように役立っております

指定寄付

寄付者より指定のあった寄付金・寄付物品は善意銀行を通して指定先へお届けいたします。

一般寄付

指定のない寄付物品は、必要としている福祉施設、団体、個人等へ配分しています。
指定のない寄付金、「市民の愛」募金箱、あるいは座間市社会福祉協議会へいただいた寄付金は、社会福祉事業へ役立たせていただいています。
※「市民の愛」募金箱・・・市内の飲食店、公共施設等の協力を得て、募金箱を設置しています。
身近な場所で地域福祉活動ができ、また皆様の愛が地域の福祉を支えています。



寄付金(一般寄付)の使いみち

福祉団体活動助成

福祉団体へ活動助成

ボランティア事業

ボランティアセンター
運営事業

ボランティア各種講習会事業

ボランティア活動強化
研修事業 など

地域福祉推進事業

地区社協連絡会事業

高齢者福祉活動事業 など

古本市の売上も“善意銀行”に寄付されました!!

11月2日に行われた「ふるさとまつり」で古本等を販売しました。
この古本市は、座間市リサイクル協同組合にて回収された中から状態の良いものを、市の許可を得て販売しました。お天気にも恵まれ、たくさんの市民の方々にお越しいただき大盛況でした。

売上:65,335円

売上は全額「善意銀行」に寄付させていただきました。お買い上げいただいた多くの皆様、ご協力いただいた座間市リサイクル協同組合の皆様、ありがとうございました。



みなさまのあたたかい善意を
お待ちしております。

上記に関するお問い合わせは

TEL 046-266-1294 FAX 046-266-2009 E-Mail info@zamashakyo.jp

※善意銀行への寄付金は所得税・法人税の税制優遇が受けられます。

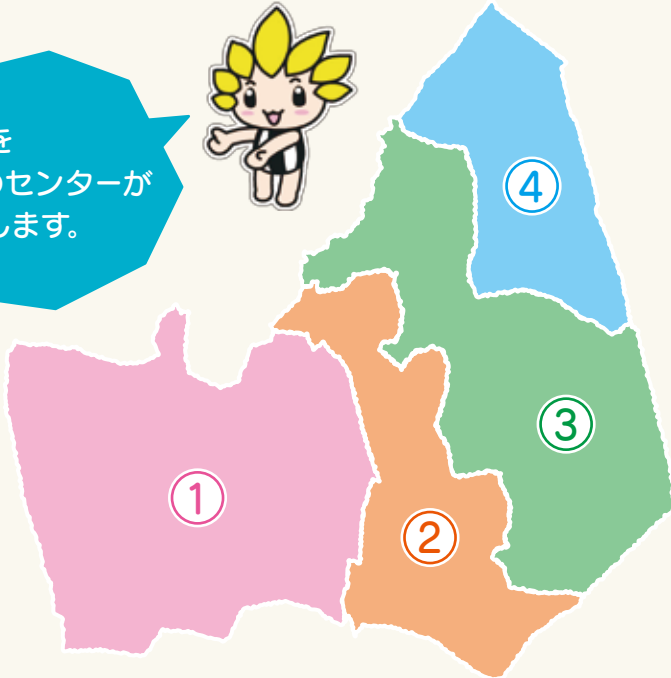
介護の不安や日常生活の悩みなど…
地域包括支援センターへご相談ください

地域包括支援センターとは、高齢者に関する健康や生活の心配事、介護保険制度について、消費者被害や成年後見制度に関する相談ができる機関です。
また、介護予防に関する相談や、要介護認定区分における要支援の認定が下りた方のケアプラン作成等も行っています。
市内には4つの地域包括支援センターがあり、それぞれ担当の地域がありますので、お住まいの地域をご確認下さい。



地域包括支援
センターの紹介

市内を
4つのセンターが
分担します。



1 新田宿・四ツ谷・座間・明王・入谷にお住まいの方

地域包括支援センター第二座間苑

当センターは座間の中では比較的ローカル色豊かな新田宿に事業所があり、春は田植え、夏はひまわり、秋は稲刈りなど、季節を感じながら西へ東へと走り回っています。



住所 座間市新田宿623
TEL 046-256-9007 FAX 046-251-8383

2 緑ヶ丘・立野台・栗原中央・南栗原・西栗原・さがみ野にお住まいの方

座間市社協地域包括支援センター

介護予防の一環として、地域のサロンや老人会、コミュニティセンター等にお邪魔させていただき、身体の機能を維持できる様な体操等を実施してます。



認知症サポーター養成講座

住所 座間市緑ヶ丘1-2-1
TEL 046-266-2005 FAX 046-266-2009

3 栗原・相模台・ひばりが丘・東原にお住まいの方

ベルホーム地域包括支援センター

皆様が笑顔で安心した日常生活が送れるように支援させていただきます。当施設は特別養護老人ホームを併設しておりますが、必要な際は皆様のご自宅までお伺いしますので、まずはお気軽にお電話下さい。



住所 座間市栗原1261-1
TEL 046-258-2030
FAX 046-257-1803

4 相模が丘・広野台・小松原にお住まいの方

相模台地域包括支援センター

今年、9/6(土)の相模台病院精神科新井医師の基調講演を皮切りに、座間市介護保険課や座間市社協、クリエイトSD、セントケア座間と協働し、「相模が丘認知症勉強会」を開催中です



認知症勉強会

住所 座間市相模が丘6-27-9
TEL 046-266-5222 FAX 046-256-0650

善意銀行 ♥♥♥ 市民の愛 ♥♥♥

善意銀行では、「社会福祉の役に立ちたい、困っている人を助けたい」という市民の皆様の善意を活かし、それを必要としている方々へ橋渡しをしています。
平成26年10月1日から平成26年11月30日までに市社会福祉協議会へご寄附いただいた方々は次の通りです。ありがとうございました。(敬称略・順不同)

★浄財をご寄附いただいた方 合計12件:403,799円

●社会福祉のために ※()内は単位:円

座間市銭太鼓連盟直伎久会(19,300)/神奈川セントラルケアセンター(10,000)/日本折紙協会相模支部「夢折紙」(4,000)/座間市民謡連合会(21,747)/(株)トッパンメディアプリンテック座間工場朝日新聞座間販売店一同(93,000)/飯野山募金箱(129)/その他匿名3件

●指定寄付

鎌田直彦よりベルホーム(20,000)/三蔵商事(株)より座間市社協(100,000)/三蔵商事(株)より座間市老人クラブ連合会(100,000)

★物品をご寄附いただいた方 合計6件

●社会福祉のために

土屋昭宏(毛糸)/玉屋光助(お菓子460個)/重安万智夫(おむつ)/その他匿名1件

●指定寄付

川口淳三より成光学園(米100kg)/座間市民生委員児童委員協議会より座間市障害者団体連合会(バザー品)

寄付は、寄付者の希望に沿い、配分しています。

善意銀行への寄付金は、所得税・法人税の税制優遇が受けられます。

地域福祉班 TEL 046-266-2001

報告

ファミリー・サポート交流会

11月8日(土)ファミリー・サポート事業の交流会を開催しました。

当日は、的当てゲーム・釣りゲームやスカットゲーム等を楽しんだり、ガムテープを使ってボックスティッシュカバーを工作したり、お母さん方にはハンドマッサージを堪能していただきました。

参加者も年々増え今年度は71名の皆様に参加していただき、誠にありがとうございました。交流会は、利用会員のお子さんの成長を感じ、協力会員同士が励みに思っ活動できる有意義な時間が一瞬でも作れればと思ひ、毎年行っているイベントです。一般の方にも、ファミリー・サポート事業の理解を深めて頂ければと思っております。

＊子育て中のママが『ホッと出来る時間が欲しい』『保育園のお迎えがギリギリで少し余裕が欲しい』等、子育てに悩んだときはひとりで抱え込まず、周囲に相談してください。ファミリー・サポート事業では、あなたの子育てを見守り、応援しています。

また、子育て中のママが少しでも『ホッ』と出来る時間を作れるよう手助けして下さる協力会員を募集しております。



お問い合わせ ファミリー・サポート事業 TEL:046-266-2003

ご案内

生活福祉資金貸付制度

＜＜総合支援資金＞＞

失業などにより生活の維持が困難になった世帯に対して、生活費及び必要な資金の貸付を行います。

＜＜緊急小口資金＞＞

給料の盗難等やむを得ない理由で緊急かつ一時的に生計維持が困難になった低所得世帯に対して、少額の貸付を行います。

＜＜福祉資金＞＞

低所得世帯、障害者や日常生活上療養または介護を必要とする高齢者のいる世帯などに対して、資金の貸付と必要な援助を行います。

＜＜教育支援資金＞＞

一定所得以下の世帯に対して、学校教育法に定められた高等学校、大学などの進学や通学に必要な経費の貸付を行います。

＜＜不動産担保型生活資金＞＞

住み慣れた自宅に住み続けたい高齢者の方に対して、土地・建物を担保とした生活資金の貸付を行います。

※資金の詳細や貸付条件・基準は、種類によって異なります。

※相談来所の際は、事前に連絡をしてください。

お問い合わせ 地域福祉班 TEL:046-266-2001

H26年度 市民のための福祉講座

「災害救援ボランティア講座」



大きな災害が発生した時、ボランティアの受入や調整を行う災害救援ボランティアセンターが設置されます。そのセンターには「助けてもらいたい人」からの様々なニーズと「助けていたい人」をつなぎあい、円滑にボランティア活動ができるよう調整をする、大きな役割があります。

この講座では災害救援ボランティアセンターの役割とボランティアとして活動するための基礎知識を学びます。あなたも災害救援への「はじめの1歩」を踏み出ませんか！



昨年の講座の様子



日程・プログラム 全3回		
	日程	内容
①	2月8日(日) 13:00～16:00	◆被災地から学ぶ～学びを活かす 講師:秦 好子 氏
②	2月15日(日) 13:00～16:00	◆災害から生き残るために
③	2月22日(日) 9:00～15:00	◆災害食作り ◆災害時ボランティアセンターの設置と運営訓練

- 会場

サニープレイス座間3階 研修室
- 定員

20名
- 講師協力

ざま災害ボランティアネットワーク

※社協ボランティアセンターに登録しているボランティア団体です。市民への防災、減災、災害対応に関する研修・啓発活動を行っています。

災害時のボランティア活動に関心のある方、何か始めたい方お待ちしております。

申込先・お問い合わせは…

座間市社協ボランティアセンター
TEL 046-266-2002 FAX 046-266-1295 E-Mail vc@zamashakyo.jp



互いに手を取り 支えあう 人と人

座間市

しゃきょう



応援します！
地域活動♪♪

準備進行中！入谷第二地区社会福祉協議会(仮)～いごこちの良い地域を目指して～

座間市社会福祉協議会では、現在、入谷四丁目と五丁目の一部において、地区社会福祉協議会(地区社協)の設立に向けて準備会を開催しております。

当該地域にお住まいで、地域の福祉活動に興味をお持ちの方が集まり、日頃より感じている地域の福祉課題や、その対策などを約一年かけて築きあげてきました。

■主に話し合われているテーマ～いごこちプロジェクト～

- 「い」(居場所)＝気軽に集まれるような場所の検討(地域の空家や空き店舗の活用など)
- 「こころ」(心)＝心通わせあえるような繋がりづくり(孤独や孤立の防止・見守り活動など)
- 「ち」(知)＝地域の情報がより身近に感じられる仕組みづくり(情報交換や学習会など)

■準備会による初めての企画～いごこちサロン～

居心地のよい地域になるような活動を、ソフト面やハード面にわたってアプローチしていこう！というプロジェクトの集大成として、12月7日(日)にサロン活動を開催しました。

会場は東建座間ハイツにある空き店舗を(株)東京建物アメニティーサポート様にご協力いただき(場所)、プロジェクト参加者による声掛けや、入谷第二地区自治会連合会様のご協力による回覧板や掲示板の活用(繋がり)で参加者を募り、地域の人材やお店など資源を活用した企画(仕組み)をサロンで行いました。

3時間という短い時間ではありましたが、地域の高齢者だけでなく、障がいをお持ちの方、子育て夫婦や、小学生など延べ100名を超える参加者にお集まりいただき大盛況なサロン活動でした。

■取り組みを継続させるために～地区社協の組織化に向けて～

地域の皆さんで、その地域にある課題に向き合い、解決に向けた取り組みを行うことが地区社協の活動です。この取り組みを継続させるために、入谷第二地区での地区社協を設立し、継続した地域福祉活動ができるよう、市社会福祉協議会も支援してまいります。



「地域サロンサミット」開催しました

市内で展開されているサロン運営者並びに支援者、企画検討者にお集まりいただき、それぞれの活動の情報交換や、サロンを展開する上で活用できるさまざまな資源を体験することで、「横のつながり」を目的として開催いたしました。



様々な情報交換をする参加者



「チョッピリ先生」から手芸を教わる



介護予防ボランティアによる介護体操



サロンで使えるゲームなどを体験

当日は約10か所の地域サロンを運営されている方々のほか、サロン活動に興味があり、今後ご自分の地域でも活動をお考えになられている方、介護予防ボランティアさんやチョッピリ先生にもご参加いただき、総勢28名で情報交換などを行いました。

参加された皆さんからは、運営のコツや、地域の方を巻き込む方法、長続きさせる秘訣など様々な情報交換が行われ、それぞれに横のつながりを深められていきました。

地域サロンとは

高齢者・障がい児者・子育て中の親子などと、地域住民(ボランティア等)が、自宅から歩いていける場所に気軽に集い、協働で企画し活動内容を決め、ふれあいを通して生きがいづくり・仲間づくりの輪を広げる事、また地域の介護予防の拠点としての機能を持つ場所です。

上記に関するお問い合わせは
地域福祉班

TEL 046-266-2001 FAX 046-266-2009

【お詫びと訂正】

平成26年11月17日発行No.141号社協広報2ページ「ふれあいフェスティバル2014」報告記事におきまして、社会福祉協議会会長表彰受賞者名に誤りがありました。
(誤) 福前悦子 → (正) 横前悦子 ※敬称略 あらためてお詫び申し上げます。